



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---  
京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---  
メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題  
**語り合おう  
ワイズで**  
思いやり 笑顔



それ(神の国)は、からし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。

ルカによる福音書 第13章19節

**ビッグニュース!**

YMCA同盟総主事 島田 茂



在日本韓国YMCAが、日本人との和解と共生、民族教育と国際教育、指導者育成の功績が認められ、大統領賞を授賞することが決定されました。11月初旬に授与式が執り行われる予定です。YMCA

にとって、歴史的な快挙であり、このことは、在日本韓国YMCAを運動と経営両面で見事なお働きリーダーシップを発揮されてこられ、両国の平和の懸け橋となられた金秀男兄のご努力によると思います。

この数年韓流ブームに乗って私も韓国のドラマや映画のファンになりました。「冬のソナタ」「チャングム」「ホジュン」「朱蒙」など多くの優れた作品に圧倒されるような思いがしました。一方、日本との歴史を振り返ると痛みを感じます。韓国は1906年日露戦争後に伊藤博文が韓国統監となり、1910年には韓国併合という形で植民地支配が行われました。韓国の人々は、日本の教育を強制され、やがては自国語の学習を禁止され、日本語の学習が強要されました。1923年に起きた関東大震災では、約6千人といわれる朝鮮人虐殺事件がおきます。第二次世界大戦においても、日本政府による徴用令によって1945年までに45万人にも及び韓国の人々が強制連行され、戦争末期には日本軍として徴兵されました。一方で日本に定住している韓国の人々は、今日においても差別を受けてきました。

韓国と日本の悲しい歴史の中で、両国の民族の平和と共存のために、在日本韓国YMCAは、重要な役割を果たしてきました。第一次世界大戦後アメリカ大統領ウィルソンが提唱した「民族自決主義」に勇気づけられ、1919年2月8日在日本韓国YMCAで、韓国の留学生たちによって独立宣言文が起草され、当時の留学生総会で発表されました。この独立宣言が、韓国本国にもたらされ、3月1日韓国の民族が立ち上がり独立運動に発展しました。

在日本韓国YMCAは、2006年創立100周年を迎え、「和解と共生」の働きを韓日、アジアから世界に広げることを決意され、記念事業の一つとして「2.8独立宣言記念資料室」を開設されました。民族の文化と歴史を大切に、人々に伝えつつ、両国の歴史的な深い溝を「一方的な」許しによって、「和解と共生」を果たしてきました。そして、この「和解」の経験は、パレスチナやイスラエルなど民族の紛争に生かされることが期待されています。

在日本韓国YMCA、そして、在日本韓国YMCAを全ての面で支えてこられたソウルYMCAの尊い働きを誇りに思います。日本のYMCAとワイズメンズクラブは、世界の平和のために共に連帯して、「アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人々と共に平和の実現に努める」という日本YMCA基本原則を実行していきましょう。

会長 金丸 太一郎  
副会長 三村 良行  
書記 古川 安雄  
会計 小泉 洋

**11月例会案内**

**4日(水)**

**第一例会**

「つながってエコ」えんクイズ クイズをしながら環境のお勉強をする例会

**18日(水)**

**第二例会**

今期はじめての25周年夢実現委員会アワー例会

例会出席	
10月第1例会	11名
10月第2例会	13名
在籍者数	17名
出席率	82.4%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ	
10月第1例会	0円
10月第2例会	5,000円
累計	19,000円

ファンド	
星空観望会	
ビール	3,110円
累計	33,120円

**強調  
月間**

**Public Relations Wellness**

ワイズデーに呼応した活動計画と実績を、マスメディアに取り上げてもらおう。ワイズメンズクラブの社会的認知度を高め、ワイズメンであることに誇りをもって、EMCやクラブの活性化につなげましょう。

長谷川和宏 広報事業主任



中村隆司会長の開会宣言、会長挨拶によって始まった記念例会。この日に至るまでのメンバーの皆さんのこれまでのご苦勞を癒してくださるような、会場の皆さんの暖かい「ワイズソング」の斉唱。山中将兵京都部部長ならびにウエルクラブ設立の三村良行エクステンション委員長（プリンスワイズ）のお祝いと励まし、そして期待がこめられた暖かいメッセージ。

NPO法人六弦のメンバーによる楽しいバンド演奏に続き、練習の成果が大いに発揮されたウエルのメンバーによる「DANCE SHOE CASE」のパフォーマンス。微笑ましく思わず「がんばれ」と声援したくなります。

また、日ごろワイズメンズクラブとしての例会と、YMCAのサバエ、リトリートセンター、クリスマスキャロリングなどに積極的にご支援を頂いており、このたびのアクトとしてもサバエキャンプ場の植樹にご協力いただきました。感謝です。

例会はヤングメン（YMCA）：ウエルワイズバージョンからYMCAの歌までスマートに閉会を迎えました。

私にとってこの例会で嬉しく感じていたのは、中村隆司会長（ウエルワイズ）のお人柄と熱意、更には支えておられるメンバーが一生懸命ご準備され、多くのワイズメンズクラブの例会訪問を通じてアピールされ、それを暖かく受け止め参加、応援にこられた約150名の京都部の皆さんのお気持ち。残念ながらウエルワイズを退会された方々も含めて、人数が少なく大変な受付や撮影、照明などを最初から最後まで食事をさげずにがんばっておられたお姿。そして最初から最後まで、ウエルのメンバーに気を配りつつ例会のムードを盛り上げようとさりげなくサポートされていたプリンスワイズの皆さんにお姿です。ワイズメンズクラブっていいですね。



総勢120名を超える参加者を迎え、ウエルクラブ5周年記念例会が京都平安会館にて開催された。我がプリンスクラブにとっては、子クラブに当たるウエルクラブ。私自身、ウエルクラブから誕生した瞬間には立ち会っていないが、その当時を知る往年のメンバーにとっては感慨深かったはず。

開会点鐘、会長挨拶、来賓紹介、祝辞と、とってもしなやかな雰囲気の中で始まった記念例会。5年間の歩みのスライドを鑑賞し、ここまでは通常の記念例会の流れ。が、徐々に会場はいつものウエルクラブのテンションに包まれる。ベンチャーズのカバーバンドの登場、メンバーのヒップ

ホップダンス（？）、ウエルクラブ有志4人によるポップダンス（女子高生風？）、極めつけはワイズソング斉唱（西城秀樹バージョン）。

老獺な川嶋ワイズの司会に乗って、軽快で滑稽で、すごく温かみのあった記念例会。参加者一同、すっかりウエルワールドに陶醉した3時間。中村会長以下、飾らないウエルクラブのメンバーたちによる宴は、世代が近い事もありとても楽しめた。

今期中村会長の主題[One For All, All For One]。今回の例会ではよく表現できていたと思う。現メンバーの人数を全く感じさせる事なく、終始来賓を全身で楽しませてくれた。今後もこの調子で、活動を続けていただき色々なイベントで楽しませてください。最後になりましたが、おもしろい宴をありがとうございました。



### 東京サンライズクラブからの報告

今月の目玉は何と言っても「西条酒祭」。京都プリンスより金丸会長ご夫妻、岡西さんご夫妻が参加されるという事で参加者を募ったのですが、残念ながら皆所用のため長津、御園生、小山2だけの参加になりました。

例年通り昼過ぎに西条駅で集合し、しろろ(元カーブのキャッチャー水沼史郎さんのお店)でお好み焼きとビール。賀茂輝(財満さんの酒蔵)でジャズの演奏を楽しみ、今年は久しぶりに酒蔵めぐりを楽しみました。

西条HAKUWAホテルで竹本西中国部部長をはじめ、広島・福山・呉クラブよりの参加もあり、和気あいのDBCナイトを開催しました。翌日は谷本久美子さんのご案内で宮島観光に向かいました。初めてケーブルカーに乗って弥山に登ってきました。チョット霞んでいましたが波おだやかな瀬戸内海の景観を楽しんできました。ぜひ、来年は大勢で「西条酒祭」と「DBC」と、その後の1泊2日の旅行を楽しみませんか。



10月第二例会は京都みやびワイズメンズクラブからメネット3名を含む13名の参加者を向かえにぎやかに開催された。プリンスからも金丸メネット会長をはじめ4名のメネットが参加し総勢34名の参加者となり久々にぎやかな例会となった。いつもこれくらいの人数で例会が持てるよう是非会員増強に努めねばとの思いが、きっとメンバー全員の心に起こったのではないだろうか。

それはさておき、参加者が楽しめる例会ということでゲストに友人の杉本氏・鶴山氏・藤田氏を招いて、楽器演奏と歌で盛り上がるということになった。三人三様の世代からみんなになじみのある曲を歌い演奏してくれ、またプロの藤田君のちょっとマニアックなギター演奏などを織り交ぜてそれなりに楽しめる雰囲気を作ってくれた。みやびクラブの会長からはクリスマス例会に来て欲しいとまで言っていたので楽しんでもらえたと一安心。例会終了後はみやびの設定で二次会へ。楽しく飲んで語り合ってよきクラブ交流が出来た。



10月第二例会は、京都みやびクラブとの合同例会でした。メネットさんも含め多数の出席があり、久しぶりに華やいだ例会となり、いつもこの様な例会をしたいものであります。「音楽好きの仲間」三人のエレキギター演奏とボーカルに盛り上がり、秋の夜はふけ行くのでありました。

一つ思った事は、みやびクラブさんが継続して取り組んでおられる事業、日頃の奉仕活動、メンバー増員に対する取り組み、等々、意見交換、話し合いの時間が取れなかった事が残念に思われました。

今後、プリンスクラブは「楽しいクラブ創り」に向け、他クラブとの交流も含め、メンバー全員で話し合い、相互のコミュニケーションを取り、継続していける奉仕活動に取り組む必要があるように思います。



## DBC 東広島訪問 酒まつり

2009年10月11日～12日  
金丸美貴



10月11日、12日と東広島の西条市で催された「酒まつり」に、岡西ワイズ夫妻と行って来ました。岡西ワイズが会長をされていた時、東広島ワイズメンズクラブと東京サンライズクラブとを仲立ちされた御縁で、今回ご一緒に行きましようとお声がかかりました。

京都にも立派な酒蔵はたくさんありますが、「賀茂輝」「白牡丹」「賀茂鶴」「亀齢」などどの酒蔵も重厚で、歴史を感じられる素晴らしいものばかりでした。この2日間で、2万人以上の観光客が西条市に来られるそうです。広島大学のキャンパスが近くにある事もあって、学生のボランティアが沢山頑張っていました。留学生も多いそうで、ラオス料理やモンゴル料理の

模擬店など国際色もゆたかです。「賀茂輝」の社長が東広島ワイズメンズクラブの初代会長だそうで、「賀茂輝」でジャズの演奏を聴いたり、じゃこ天を食べたりして楽しいひと時を過ごしました。夜には、西中国部部長竹本豊治ワイズ(呉クラブ)をはじめ、2010年6月に第13回西日本区大会が広島で行われる時の実行委員の皆様が歓迎会を開いて下さいました。お料理もお酒もとても美味しく、ついついたくさんいただきました。お酒の勢いもあって、「来年の西日本区大会で東広島と東京サンライズと京都プリンスでトライアングルを結びましよう！」と話が盛り上がっていました。(良いのかなあ?)

12日は、東広島の谷本メネット(西中国部メネット主査)がわざわざ宮島を案内して下さいました。東京サンライズの方と一緒に広電にのって「原爆ドーム」を見て谷本メネットの説明を聞きました。ツアーコンダクターの資格をお持ちだそうで、丁寧な説明に核の恐ろしさ・平和の大切さを改めて感じました。宮島に船で渡ると丁度引き潮で、鳥居のすぐ近くまで歩いて行くことが出来とても感激しました。両日とも晴天で、ロープウエーに乗って弥山山頂から瀬戸内海の眺望を堪能し、雑誌にも載っている「はやし」で焼がきやあなご丼をいただいて宮島を満喫してかえって来ました。今度広島を訪れるときは、呉の大和ミュージアムに行ってみたいと思います。





「京都部555」が歴代部長の声掛けで進められて久しいが、なかなか新会員の獲得とクラブの充実を図ることは難しく各クラブともに苦戦を強いられているのが現状のようだ。そこで今期高倉EMC主査の声掛けで、クラブ充実・新会員獲得について再考しようとの機会が設けられた。

パレスクラブでは会員候補に対して事前にワイズに対する十分なインフォメーションを提供する機会を持つこと、入会後は新入会員研鑽プログラムを作り、会員相互の親睦と会の運営への理解を深めてもらう努力がなされているとのことであった。また、トップスクラブは、親クラブであるキャピタルクラブから次期西日本区理事を輩出するという状況にあるのでこの環境からの刺激を起爆剤として活気あるクラブ作りに努め、多くの会員候補を例会に誘う努力がなされているようだ。例会の運営は厳格に行い、例会開会前1時間には例会場に集い候補者たちとの交流に心がけたり例会後には次の例会につながるよう握手を持って入会を促すなどの細やかな会員の努力を重ねられている。

続いて、パレスクラブ大野嘉宏ワイズに寄る『高い志と、熱き思いで行動を！・・・ワイズの理念、クラブの理念の再確認・・・』と題する講演が行われ、ワイズの起源の紹介と創設当時の本来の目的趣旨が説明された。その本来のありようとは、異業種の人々が食事を共にすることで忌憚りの無い意見交換をし、その中からお互いの事業におけるヒントを得たり、お互いに人格を通して自己確立をしていくという、本当の意味での自己研鑽の場であるとのこと。そこから生まれたエネルギーを何らかの形で奉仕につなげていくのがワイズであり、その対象としてYMCAがあるというのである。従って、ワイズは奉仕団体です、YMCAに奉仕しますという切り口で会員を募るのは本末転倒でありこの傾向が多いのではないかとのお話であった。まずは人と人との交流、それを通しての自己研鑽がワイズの主たる目的であることを会員がしっかり自覚することから始めてこそ新会員の獲得も可能になると、熱く語られた。他の奉仕クラブとは異なりワイズはファミリーを大切にクラブであり家族ぐるみでの関わりから、参加会員自身の生き方を形作る大切な場であり得るし、したがってクラブ会費はそうした価値観の代価として当然のものとして受け止めるべきであるとも語られた。会社や相互の利害関係の無い集団であるが故の配慮の無い他者への批判によって、退会者が出たりクラブ内でのいさかいが生まれたりという事態が起こるのも、こうしたワイズの本質を忘れ去っているが故の残念な結果であるとの指摘もあった。いちいち尤もなお話で、参加者皆、感銘を受けた様子だった。

その後、食事をしつつ、各テーブルにてそれまでの発表と講演に基づいてディスカッションの時間が持たれ、盛んな話し合いが続いた。最終、テーブルごとの討議結果が発表されたが、いずれのテーブルからも根本的な会員の意識改革の重要性に気づかされたとの声が上がった。謙虚に互いを尊重し人格向上を目指して自己研鑽していれば、ワイズに参加したいという人材はまだ多いと認識すべしとの言葉を肝に銘じて参加者一同、自クラブにこの思いを持ち帰って更なるEMC活動につなげたいと思った次第である。まとめに廣井EMC事業主任から、京都部はまだまだ活気のある部なので他の地区のよき手本となるようがんばって欲しいと檄がとばされ閉会となった。意義あるシンポジウムであったと思う。



## ジャガイモファンド

10月25日(日)  
小泉 洋



Yサ/CS事業のクラブ活動資金となる、クラブファンド最大の事業であるワイズポテト等の購入受け渡し、10月25日の日曜日に毎年お世話になっている京都市中央卸売市場で行なわれました。

当日の天気は、曇りでしたが去年と違って雨の心配はいりませんでした。午前8時の受け渡し開始に合わせて、8時前より配達用トラックの手配と受け渡し場所の準備に取り掛かりました。毎年の事ですが、当日取りに来られないメンバーの分、購入数量が多くて自分の車では積載不可能なメンバーの分、そしてOBメンバーの分と配達があるわけです。今年は大型の車が1台と小型が1台で、何回かに分けて配達しました。又、ファンド委員、三役の車にも小分けして、皆が配達人となって手際の良い配達となりました。そのお陰で予定の11時の少し前で、無事終了する事が出来ました。少し肌寒い日だったのですが、箱の積み降ろしを続けると汗ばむぐらいで、朝からいい運動をさせてもらいました。

今年は、淡路産の玉ねぎを新たに加えた品揃えだったのですが、販売数量はここ3年間においては総数500ケースを越えていたのが、今年は総数468ケースとなり、去年の総数553ケースと比べると1割5分減となりました。やはりメンバー数が起因しているみたいです。メンバー数もほぼ1割5分減となっています。一人当たりの購入数量が横ばいというのは、この経済状況を考慮するなら大変な努力の賜物だと思います。皆様ありがとうございました。メンバー増強は当然のことですが、ファンド益金を増やすには、他の一般販売可能なファンド品を検討するのも必要かなと思います。

この収益金は、Yサ/CS事業の活動資金となります。又、その販売活動をする事によって、ワイズメンズクラブの広報の一助ともなり得て、大変有意義な事業だと再確認するのは、私だけではないでしょう。





10月17日(土)サバエキャンプ場にてプリンスクラブ主催の星空観望会が開催されました。当日は昼間に雨が降る天候で参加者及びスタッフ一同やきもきする一日でしたが、滋賀蒲生野クラブ井之上温代ワイズ、京都めいぷるクラブ飛田ワイズご夫妻、エイブルクラブ上澤、大山両ワイズ、トップスクラブ乙坂ワイズご家族をゲストでお招きし、当クラブ参加のメン、メネット合わせ総勢22名で賑やかに開会。夕食はバーベキュー、焼き鳥、焼きおにぎり、メンバー一同食欲旺盛で食材が足りないかと調達責任者としては一人ひやひやでした。飲み物は今回ファンドで実施ご協力ありがとうございました。

食事も終了、お待ちかねの観望会、今回はこの時期よく観察することができる木星をメインに北野ワイズの講演及び観察木星の様子ははっきりと確認することができ感激、星空をゆっくりと眺めることのなかった自分にとっては有意義で楽しい時間を与えていただき感謝します。今回の星空観望会実行委員長岡西ワイズ、望遠鏡設営等でお世話頂いた森、北野両ワイズそして参加頂いた方々次回開催もよろしくお祈りします。

\* \* \* \* \*

去る10月17日土曜日サバエキャンプ場においてプリンスクラブ主催による天体観望会が開催された。メンバーの骨折りおいしいバーベキューが振舞われ他クラブからの参加者も含め皆で楽しく歓談した。

ビールやおもたせの日本酒の酔いが心地よく回ったころにいよいよ天体観望が始まった。と思いきや、予期せぬ冷え込みに望遠鏡のレンズが結露するという事態が発生し大騒ぎ。手で暖めても曇りが明かす、ホカロンやらペットボトルのにわか作りの湯たんぽ(?)やらで暖めて何とか問題解決となった次第。はじめは木星の観察で二本の横じまや三つの惑星を確認した。酔いと老眼とに苦しみながらも何とかみんな観察したが、残念ながら・・・という参加者もあったとかなかったとか。

その後、北野会員による解説を聞きながら秋の夜空を観察した。星座にまつわる話に古代ロマンを感じつつ秋の夜長、尽きることなく楽しい時間をすごさせていただいた。サバエの夜は楽しくふけていった。こうした形でのサバエキャンプ場の利用をみんなで考えて、これからも色々と楽しい会を持って欲しいと思った夜だった。感謝。



## YMCAって何してるの? どんな人が居るの?

京都YMCAウエルネス事業部  
門上 侑加理



最初に私とYMCAの出会いについて、少しお話ししたいと思います。今から20数年前のことです。兄が習い始めたスイミングについて行ったのが始まりです。いつも観覧席から、プールを見下ろし、楽しそうなみんなの姿を羨ましい気持ちで見ているのを今でも覚えています。実際に私がスイミングを習い始めたのは、小学校1年生になってからのことです。元々水が大好きだった私は、上手になることが嬉しくて、いつも褒めてくれるリーダーが大好きで、いつか自分もリーダーになりたいと思っていました。兄妹全員がお世話になった京都YMCAに、なぜ就職したのか?それは正にタイミングです!短大を卒業した私は、海外に行くことを夢見ていたため、就職もせずに資金稼ぎをしていま

した。そんな時、何気なく見ていた求人情報誌にYMCAの募集が載っており、勢いで応募しました!

京都YMCA 6階のウエルネス事業部は、水泳・体操・サッカー・バスケットボールなどのユーススポーツの窓口です。スタッフ同士も非常に仲が良く、意見交換などで、時折白熱する場面も見られますが、各々がYMCAへの熱い思いを胸に秘め、日々の仕事に取り組んでいます。そんな私たちリーダーの役割は、スポーツ指導を通じて、子どもたちに集団活動でのルールの大切さや、お友だちの存在の大切さなど、人として生きていく上で大切な価値を伝え、よりよい人格を育むことだと考えています。様々な場所で『孤独』が感じられる現代社会で、非常に重要な役割を担っているのです。この仕事の醍醐味は、子どもたちや、リーダーの笑顔がすぐ間近で見られることや、そのきっかけ作りができることだと思います。特にワッペンテストでは、日頃の練習の成果を発揮する場なので、リーダー一同全力で応援します。そのワッペンテストで、子どもが最大限の力を発揮し、笑顔がこぼれた時には心の底から感動します!

6階はいつも子どもや、リーダーの活気で溢れています。私はそんなYMCAが大好きです。ぜひみなさんも元気をもらいに6階に遊びにきてください!!

京都YMCAの使命では「人々の出会いを通じ、互いの人権を尊重し」「いのちあるすべてのものが共に生きる平和な世界を築く運動を展開します」としています。今日の社会の現実としては、他者を傷つけ、いとも簡単に命をも奪ってしまう事件が起きてしまっています。また弱者はさらに差別され、追いやられてしまうことさえあり、このことが矛盾とはされない状況が更に進んでいるようにも思えます。

星野富弘さんによる「同じ大切」という詩があります。暗いより明るい方を、遅いより早い方を、静けさよりにぎわいを、いつから片方ばかり求めるになってしまったのか、どちらも同じ大切 11月にも、多くのプログラムを通じて青少年を育み、且つ私たち自身が社会の課題と向き合うことで、共に生きることのできる社会への変革ができることを願っています。ご支援、ご協力をお願いいたします。

### 1. 世界YMCA・YWCA合同祈禱集会

毎年11月第2週は、世界YMCA・YWCA合同祈禱週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りがささげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同でテーマに添った課題をとり上げ共に考える会をもちます。

とき 11月13日(金) 午後6時30分から

会場 京都YMCA 地下 マナホール

テーマ 「いま地球市民として生きるために-世界飢餓人口10億人を超えた今-

講師 清家弘久氏〔日本国際飢餓対策機構 啓発総主事〕

参加費 500円〔学生300円〕含む茶菓代

お問合わせ・お申込 京都YMCA 075-231-4388

### 2. リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしています。都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。自由参加型プログラムとして綱引き大会などリトリートセンターを使った楽しいプログラムを用意致しております。

日時 11月15日(日) 午前11時(開会)~午後3時(閉会予定)

場所 京都YMCAリトリートセンター

電話 0774-24-3838

入場料 チケットをお求めください。(大人2,000円 小学生1,000円 幼児 無料)

各クラブ、YMCA三条本館でチケット販売致しております。

駐車場無料 京都YMCA三条本館、京阪宇治駅、JR宇治駅よりマイクロバスあり〔有料予約制〕

### 3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月1日(日)は京都YMCA国際協力街頭募金の日です。このプログラムは京都YMCA国際協力キャンペーンの一環として行われます。世界の諸問題に取り組む一つの機会として、是非ご参加・ご協力ください。

日時 2009年11月1日(日) 13:00~15:00

各募金場所に現地集合 13:00~15:00

街頭募金 募金場所：三条河原町、三条大橋、四条河原町、四条烏丸、京都駅等 約10カ所 16:00

募金集計終了後、解散(京都YMCA三条本館)

当日の募金場所につきましては10月23日の募金委員会後にお伝えいたします。雨天決行 警報の出る可能性のある場合の実施については当日午前10時に判断します。天候不順の場合は事務局にお問い合わせください。当日昼食を済ませてご参加ください。

### 4. スキーキャンプ・デイキャンプ受付会員優先

11月5日(木)~9日(月) 午前10時~午後6時  
お電話にて受け付けます。

日曜除く電話075-231-4388 ただし上記期間に限りFAX・Eメールでも受け付けます。(24時間)  
FAX075-251-0970 E-mail campmoushikomi@kyotoymca.or.jp 11月10日(火)からは会員外の方の受付が開始されます。お電話のみの受け付けとなります。

### 5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ  
第34回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2009年11月21日(土) 午後7時~9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円(お茶代等)

お申込は 京都YMCA 075-231-4388または  
vb@kyotoymca.or.jp

### 今月のスケジュール

## 11月

1日(日)	ワイズデー 国際協力街頭
4日(水)	第一例会 グランドプリンスH
18日(水)	第二例会 グランドプリンスH
25日(水)	役員会 京都YMCA

### 役員会報告

<承認された議案>

10月役員会での承認事項は、ありませんでした。

### 横浜国際大会登録費の積立開始

先般、10月第二例会時において金丸会長より、「横浜国際大会登録費等の費用を積み立てて、メンバー全員が大会に参加しましょう」との話がありました。大会時の一時負担を少しでも軽減し、出来るだけ多くのメンバーの参加を促す提案であることは、皆様にもご理解とご賛同を頂けるものと思っています。

この積み立ては任意であり、また、積み立てしたにもかかわらず何らかの事情により大会不参加となられた方には、積立金全額を返還致します。何卒よろしくお願い致します。

積立金 月額5,000円

積立金集金期間 2009/11~2010/6